

「外航クルーズ業界の課題や 課題解決に向けた取組事例」

1

近畿日本ツーリスト株式会社
クルーズ・マスター
清水 克子



1. クルーズ需要の増大

- ・ 世界のクルーズ需要は増大しており、日本でも外国船社クルーズの寄港が急増している。
また、外国客船による日本発着クルーズの本格実施も予定されている。
- ・ 我が国のクルーズ人口は概ね横ばいであり、年齢層も高齢層が中心となっており、顧客層の拡大が課題。

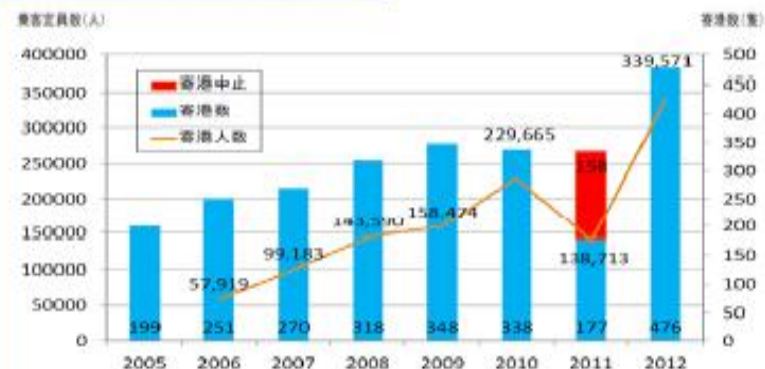
世界のクルーズ需要の増大



注: DOUGLAS WARD/Cruising & cruise ships 2013より引用
(日本の数字は国土交通省海事局調)

外国船社クルーズ船の寄港回数推移

外国船社クルーズ船の寄港回数推移



出典: 国土交通省への問い合わせ回答結果等を基に国土交通省調べ
注:
・2012年までの確定値
・「2011年の寄港中止数」は、2011年2月末に集計した「2011年の総寄港数」の推計値から、「2011年の寄港数」を除き算出

I 日本のクルーズ業界

「平成元年 = クルーズ元年」

日本のクルーズ人口： 「右肩上がり」

※2012年 21.7万人（16.2%増）

外航クルーズ 12万人

内航クルーズ 9.6万人

※外航クルーズ → 外国船

日本船

I 日本のクルーズ業界

1. クルーズの種類 と クルーズ人口増の要因

(1) 外航クルーズ

- ① 為替レートが超円高で推移したこと
- ② ゴールデンウィークに旅行会社による大型船のチャータークルーズ
- ③ 欧米系の外国クルーズ船社による日本発着の自主クルーズの実施
⇒アジア域内航路のクルーズ人口が増加

(2) 国内クルーズ

- ① 一昨年の震災の混乱から回復
- ② 団塊の世代が勇退 → 余暇人口の増加
- ③ 世界遺産へのクルーズの増加

I 日本のクルーズ業界

2. 課題 (外航クルーズ)

(1) 増えない取扱人員

→ 物理的問題

(増えない日本船、キャパシティ)

※外国船日本寄港、定点クルーズの増加

(2) 価格競争の波

→ 低価格競争による、低収益構造

※近いところで「憧れの?!」クルーズ旅行

(3) 顧客の旅行会社離れ

→ 新規参入 (インターネット) への流出

※取扱人員の新しい波

Ⅱ 旅行の考え方 … その役割

「クルーズ旅行 = デスティネーション」

「旅行の一つの形」

～「海洋×観光」で地域の魅力を再発見～

→ 海から観光を楽しむ

クルーズ旅行に携わる人の役割とは？

(1) クルーズ船会社

- ① 日本寄港、定点クルーズの増加
- ② PR活動

Ⅱ 旅行の考え方 …… その役割

クルーズ旅行に携わる人の役割とは？

(2) 旅行会社

- ① クルーズ旅行の商品化
- ② 販促活動

(3) 寄港地（自治体）

- ① 誘致活動
 - 港湾整備
 - 観光地PR（観光地としての魅力）
- ② インフラ整備
 - 多文化共生

外国人が暮らしやすい環境 = 行ってみたい場所

Ⅱ 旅行の考え方 …… その役割

「クルーズ目線」だけでは、切り口が変わらない。



異業種交流



新たな顧客獲得

ありがとうございました。